

2022
Winter

冬号

vol.251

AKATSUKI GAKUEN

暁学園報

四日市大学 / 四日市看護医療大学
暁高等学校(3年制) / 暁中学校・高等学校(6年制)
暁小学校 / 暁幼稚園



暁学園公式キャラクター
アルバちゃん



理事長メッセージ

「夢なき者に成功なし」

教育研究センター長就任挨拶

「生徒に寄り添い、生徒を励ますこと」

萱生キャンパスに新学園施設がついに誕生

学園タイムトラベル

「深い感動はその人間の一生を左右する」

学園全校園のトピックス

高校・中高クラブ活動報告

夢なき者に成功なし

理事長

喜岡 渉

Kioka Wataru



将来こうありたいという皆さん自身の理想像、すなわち夢や目標をしっかり描いて学園生活を送っていますか。古風で大きさに聞こえるかもわかりませんが、「夢なきものに理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、ゆえに、夢なき者に成功なし」という幕末の志士・吉田松陰の名言があります。人生を主体的に生きるためには皆さん自身の理想像が必要です。

とりわけ最終学年のあなたは、あくまで理想を追求して、歩き慣れた道ではなく、見えない未来へ通じる道を選ぶ勇気を持って臨んでいますか。総合型選抜方式ですでに進学先が決まった者も、これから一般試験に挑む者も、理想への延長線上にある大学や学部・学科を選ぶようにしましょう。決めるのはあなた自身です。最近では、1回の試験で複数学部に出願できる制度や、同じ大学の複数の学部・学科を受験する場合は受験料を割り引く入試制度をとる大学が増えて来ていますが、複数学部を受験してもあなたの理想を追える学問分野でなければ意味がありません。

就職活動を終えた皆さん、まだ活動中の皆さんも、自分自身の価値基準に合う就職先に決まりましたか、または決まりつつありますか。最近では、学生自らがキャリア選択のために企業等に応募する採用方法ではなく、企業等が登録した学生の中から採用したいと思う人にスカウトメールを送って学生に直接アプローチする、ダイレトリクルーティングという手法を取り入れるところが多くなりました。主体的なキャリア選択のためには、どこかの企業等からのアプローチをただ待つのでは不十分で、自身の理想像を追求することはできません。

最後に、皆さんは、未知なる領域への好奇心や、そこへ踏み込む勇気を持っていますか。この好奇心と勇気、すなわち強い探求心こそが、大学での学びや研究、社会に出てからの学びや研究の原動力になります。大学の総合型選抜などの面接で大学側が見極めたいのは、基礎学力と実はこのフレッシュな探求心、好奇心に満ちた皆さんの目の輝きなのです。

生徒に寄り添い、 生徒を励ますこと

～教育研究センター長に就任して～

教育研究センター長

小川 東

Ogawa Tsukane



近年、授業の仕方が大きく変わりつつあります。プロジェクターやノートパッドなどの器機の導入によって学習環境が先進化し、またアクティブラーニング、イマージョン教育など学習の形態も多様化してきました。一昔前は教室で静かに先生の話聞き、黒板を写すのが基本でしたから、隔世の感があります。先生は器機を使いこなし、効果的な指導方法を実践するために日々努力しなくてはならない時代になりました。

しかし、どんなに教育の技術を身につけ、新しい指導方法を取り入れても、それだけでは良い教育はできません。教育の根本は一人の先生が一人の生徒に1対1で向き合い、生徒に寄り添い、生徒を励まし、将来の人生を豊かに力強く生きる勇気を与えることです。その場面が最も良く現れるのは、生徒が質問に来たりしたときです。そのとき、先生が忙しいからと面倒くさそうに一方向的に説明したり、「こんなこともわからないのか」と言わんばかりに冷たい対応をしたら、生徒はどんなに落胆することでしょう。自信をなくし、勉

強に消極的になり、二度と質問などする気にならないでしょう。質問をするということは、わからないことを理解したいという知識に渴望した状態の表れで、生徒にとっても先生にとっても貴重な瞬間です。その飛躍するチャンスを逃さず先生が生徒を励まし、前進させることが大事で、万が一にもそのチャンスを潰すようなことがあってはなりません。

本学園の先生は新しい授業環境に積極的に取り組んでいます。センター長として先日授業参観をする機会に恵まれましたが、授業にいろいろ工夫を凝らしていました。生徒が先生に1対1で質問している場面には遭遇しませんでした。先生は真摯に生徒に向き合っているでしょう。

教育にゴールはありません。教育として決して譲れないものを堅持しつつ、生徒の想い、保護者の想い、先生の想いに耳を傾け、暁学園の教育の向上に貢献したいと考えます。人が人生で最も成長する時期の教育に関わる機会を与えられ、身の引き締まる思いでいます。



萱生キャンパスに 75周年を記念する新学園施設がついに誕生！

来年1月、旧短大校舎と法人本部棟跡地に、いよいよ新施設が誕生します。学園創立75周年記念事業として、多数の卒業生、保護者、関係者の皆様から多大なご寄附を賜りました。その感謝の気持ちを込めて、中高、高校の生徒だけでなく、全学園生、保護者、卒業生が集い、学び、憩える空間の創出を目指しました。桜、新緑、紅葉、雪景色の四季の彩に囲まれ、伊勢湾までもみはるかす、旧城跡ならではの絶景スポットに生まれるこの施設は、暁のみんなの宝物であり、暁の未来へのシンボルです。ぜひ末永くご活用ください。



法人本部棟

教育棟

教育棟の概要のご紹介

多目的ホール…………… 研究発表会、講演会、説明会や探究活動、授業、放課後自学自習などに活用するスペース

創立記念ギャラリー…… 学園歴史史料の展示及び各種会合用のラウンジ

礼法室…………… 家庭科授業、文化部の活動、茶道、国際交流活動用の和室

周囲には、屋外テラスや芝生を敷き詰めた緑地スペースも整備します。

また、教育棟に隣接する法人本部棟には学園法人本部オフィスが入ります。

「深い感動はその人間の一生を左右する」

来年、暁中学校が中高一貫制発足40周年を迎えます。当時6年制発足準備にご尽力された故・澤井尚平先生に改めて敬意を表し、学園で今を生きる皆様に澤井先生執筆の名文を今号と次号で取り上げます。

暁中学校では、当時、毎年志賀高原で「夏の合宿セミナー」を、3年生全員を対象に実施していました。朝から夕食後も含めて10時間勉強し、ハイキング、スケッチ、合唱、キャンプファイヤーと充実の5泊6日の共同生活です。この合宿の総括報告冊子の序文の一部を紹介します。

「人を愛し、学問を愛し、美を愛する豊かな人間」という言葉は、1983年の中高発足時に、「人間たれ」を具現化、具体化しようと当時の学園教員集団がつくり上げた表現です。その意味するところが、先生のお言葉から伝わってきます。

昭和54年(1979年)10月

暁中学校長 澤井 尚平先生

四無主義の時代と言われる現代。すなわち、無気力、無関心、無感動、無責任がそれである。感動とは、道徳教育事典で坂本一郎氏は、「自分の行動の達成水準が自分の目標とした要求水準よりはるかに高いということを経験する場合がある。その喜び、驚きが感動である。栄冠涙ありというのがそれである。彼は自分が自分の知っている実力水準以上により適切な適応を果たし得ることを発見し、次回は他の行動においてもより高い要求水準をたてることになる。」と述べている。感情は一時的なものであるが、感動はそれらの感情がある期間心に残り、豊かな心に成長するものである。深い感動はその人間の一生を左右する。美しいものを美しいと感動したり、人間のすばらしい行動に感動する豊かな心を育てることが大切です。

教科指導を通して、感動することの大切さを絶えず念頭において指導していますが、この合宿セミナーで大きな喜びを経験し、それを足場にして、さらに大きく成長してくれることを願わずにはいられません。

感覚がにぶり、感動に欠ける子どもの傾向として、次のようなことが言われる。

- 衝動的に行動する ○感情の抑制ができない
- 残忍性がある ○協調性に乏しい
- あたたかさが足りない

これらのことを考える時、感動の意義を正しく認識し、全領域にわたって感動する心を育てるべきであると思います。





「日常生活の哲学」が大好評

9月17日(土)、四日市市地場産業振興センターじばさんにおいて、四日市大学公開講座2022を開催しました。「日常生活の哲学～日常に隠されている「哲学」の大問題を明らかにする～」と題し、本学特任准教授フェリペフェハリー先生(写真)が講師として登壇しました。

ZARDの歌詞や映画マトリックスなどから例を取りつつ、哲学の三大問題を分かり易く解説し、また、ソクラテスの『無知の知』やデカルトの『我思う故に我あり』の言葉を引用し、考え続けることの大切さを訴えていました。

満席の会場からは、「哲学は難しいものと思っていたが身近なものに感じた」などの感想やご意見を多数頂戴し、大変好評をいただきました。



東員町と 包括連携協定を締結

9月22日(木)、東員町庁舎にて包括連携協定が締結されました。

本協定は、本学と東員町が有する人的・知的・物的資源を活用し、幅広い分野で連携及び協力することにより、地域を担う人材育成と新たな価値の創造による地域社会の発展に寄与することを目的としています。

締結式では、水谷俊郎町長(写真右)と岩崎恭典学長(写真左)が協定書に署名し、岩崎学

長からは三岐鉄道北勢線での学生によるサンタ列車などの個別の取り組みから、これからは大学が組織として連携していきたいこと、また水谷町長からは自らが暁中学校の出身であること、今後は学生にも町づくりに参加してもらえよう場を作りたいなどの抱負が述べられました。



三重県営新型コロナウイルスワクチン 集団接種会場を開設

四日市大学では、新型コロナウイルスワクチンの接種を進めるために、「三重県営新型コロナウイルスワクチン集団接種会場」を開設しました。

同会場は、学生食堂、学生ホールの他、8201教室(定員400人)や311教室(定員300人)等を使い、広く市民の皆さんを対象に開設されたものです。常設会場ではないため、大学の休業期間や土日に接種日が設けられ、前日から机や椅子を準備するなど、会場づくりが行われました(写真は学生食堂の様子)。



開設当初は、トイレ詰まりなど多少のトラブルが発生しましたが、その後は集団接種会場として順調に機能しています。大学施設は授業等が優先ですが、今後も協力していきたいと考えています。

四日市看護医療大学



暁高校でオープンスクール

看護学科、臨床検査学科ともに暁高校(3年制)のオープンスクールにて体験授業を行いました。

看護学科は、病院で看護師が患者さんに行うバイタルサイン測定(体温・脈拍・酸素飽和度)を実施し、正常値と比較して自分自身の健康チェックを行ってみることで、入院患者の7割以上は高齢者ですので、高齢者に多くみられる難聴と白内障の体験を耳栓とメガネをかけて行いました。

臨床検査学科は、多岐にわたる臨床検査技師の検査項目を紹介し、実際に顕微鏡等を使用して職業体験を行いました。今後も臨床検査技師に興味を持ってもらえるよう『楽しんで臨床検査技師を知る』機会を提供していきたいです。

参加された中学生の皆さんは、どちらの講義にもとても熱心に取り組んでくれました。



健康いきいきフェアをトナリエ四日市で開催

10月15日(土)、『健康いきいきフェア 2022四看大健康フェア』をトナリエ四日市にて開催しました。

多くの学生がスタッフとして参加し、資料やポスターなど全て学生主体で作成しました。学生達にとっては初めてのイベントでやや緊張がみられ心配をしていましたが、全員が気持ちを一にし、集中して本イベントに取り組んでいました。3年生は臨地実習の経験を基に、1・2年生は教員や先輩のアドバイスをしっかり理解して行動していました。

参加者からは大変良好な評価をいただき、『次はいつ開催ですか』、『どこの大学ですか』など聞かれ、本イベントおよび大学に対し高い興味を抱かれていました。

参加者は148名で、予想を上回る人数でした。今後も、色々な地域で定期的に行きたいと思っています。



避難訓練

～9割超の安否確認を達成～

8月26日(金)、午前・午後の2部に分けて防災訓練を行いました。新型コロナウイルス感染症の流行や台風の影響もあり、4年ぶりの実施になった今回は、「発災15分以内に一時避難場所(グラウンド)に避難し、安否を確認する」ことを目標としました。

結果はWebでの確認に回答した不在者を含め91.1%の在籍者の安否を確認することができました。一方で限られた出口に人が集中するなど、実際の災害発生時には課題となることを改めて確認することができました。今年度から本学では危機管理委員会に直属の災害対策チームを設置しています。

今回の訓練で得られた知見を活かし、不測の事態が発生しても在籍者の命を守ることができる体制づくりにこれから取り組んでいきます。





第1学年 総合探究の時間

地域企業連携授業

～地域企業を訪ねて、経営者から学ぶ～

本校では昨年度から、県内企業代表者の方による1年生向けの講演を実施しています。地元で活躍している企業を知り、仕事の紹介、やりがい、社会で必要な力などのお話を通して働くことの意義を考えるとともに探究心を高めるきっかけとするためです。今年度も6月に実施し、この企画に賛同していただいたご縁から、夏休み中の8月22日に社会福祉法人「四季の里」を訪問させていただきました。事前に生徒たちは『なぜ福祉関係の仕事をしているのか?』『利用者の方とのコミュニケーションで意識してい



ることはあるか?』『仕事を続けていく上でのモチベーションは何か?』『町で障がい者の方を見かけた場合に私たちにできることは?』などの質問を考えて訪問しました。そして現場を体験しながら新たな疑問や課題を発見し、自らのありようを改めて考えるきっかけとなりました。

3年ぶりの文化祭 ～REBORN 暁革命～

今年度の文化祭のテーマは『REBORN 暁革命』で、一昨年・昨年と開催が見送られてきた分、暁高校の文化祭を楽しもうという意味が込められていました。今年度は日数の短縮や見学者の制限など様々な感染対策を取ったうえでの実施となりました。当日は開会式の後、吹奏楽部の演奏、合唱部のミニコンサートが行われ、1年生のクラス旗の展示、2年生のクラス動画の上映、3年生の模擬店販売と多くの生徒が楽しんでいました。また、演劇部の公演、有志企画、バトン部、文化部の発表、PTA役員の方の模擬店も盛況でした。1日だけの開催でしたが、生徒たちは授業とは違う時間を楽しんでいて、「何より3年生の皆さんが最後の文化祭を楽しめているなという嬉しい気持ちもこみ上げてきました。最後までやり切れて本当によかったです」という声が聞かれました。



文化祭の人気イベント

劇団四季「キャッツ」を全校生徒で鑑賞

文化祭2日目は劇団四季の公演「キャッツ」の鑑賞会で、名古屋の劇団四季劇場に現地集合・解散となりました。講演・音楽・観劇が3年で一回りする本校の芸術鑑賞行事ですが、その中で最も人気なのがこの劇団四季鑑賞です。およそ2時間半と上演時間は決して短いものではありませんでしたが、その迫力と感動に満ちた舞台を通して本物の芸術を鑑賞できたことと思います。『劇団四季の方々の演技、歌がとてよくてすごく楽しかった!会場に入ると舞台上、劇が始まると歌、ダンス、照明、音響にとても感動した』という感想も聞かれました。前日の文化祭とあわせて、生徒たちにとって貴重な思い出と経験の詰まった2日間となりました。



暁中学校・高等学校 (6年制)



第50回 暁中学校

合唱コンクールを開催

10月25日(火)、中高体育館にて「第50回 暁中学校 合唱コンクール」が開催されました。

コロナ禍で一昨年度は中止、昨年度は学年を分けての小規模な実施でした。そのため従来のものに近い形のコンクールは、現在の中学生にとって今回が初めての経験です。

相変わらず、制限下での練習とはなりましたが、どのクラスも優勝を目指して頑張りました。

結果発表では拍手と歓声に包まれ、仲間とひとつの歌を作りあげる、達成感でいっぱいの日でした。優勝した3年B組は11月11日(金)に四日市市文化会館で開催された「三泗音楽会」に参加しました。



卒業生による講演会を開催

9月27日(月)、中高多目的ホールにて、「卒業生講演会」が開催されました。

今年三月に本校を卒業した大学生4名に来校していただき、五年生を対象に自身の受験体験やアドバイス、現在の大学生活の様子などを話してもらいました。

つい半年前まで受験生だった先輩の実体験はとても刺激になりました。体育祭、修学旅行、中高祭と五年生が中心となる大きな行事を無事終え、一年半後の受験に向けて、皆が静かに動き始める一日となりました。



暁小学校



2年生のわくわくおもちゃランド

2年生の生活科の学習の中に、「作ってあそぼう うごくおもちゃ」という単元があります。この単元では、画用紙やペットボトル、割り箸などを利用して車やロケットなどのおもちゃを作る活動を行います。さらに、暁小学校ではこの単元の発展学習として、「わくわくおもちゃランド」の催しに取り組みます。数名のグループのメンバーで協力しながら、大勢で遊べるおもちゃを作ります。2年生にとっては初めての本格的な協同作業になります。巨大ビー玉ころがしや輪投げなどの製作活動を通して、仲間づくりをしています。

コロナ禍前はこの取り組みを文化祭で発表していましたが、今は1年生をお客さんと呼んで、楽しんでもらいます。1年生の前では、どの子も素敵なお兄さん、お姉さんです。



みんなのまなび展2022を開催

新型コロナウイルス感染拡大防止措置のため、本年度も文化祭が中止されることとなりました。人が大勢集まるイベントが中止される中でも、子ども達のまなびは続いています。たくさんの作品(まなびの記録)が残されていきます。コロナ禍前までは文化祭の作品展で発表してきた図工や習字、家庭科など様々な作品を大勢の保護者の皆様に見ていただくために、今年度は11月7日(月)～15日(火)の参観日週間に合わせて「みんなのまなび展2022」を開催し、全ての学年の作品を校舎内いたるところに展示しました。児童の作品で溢れた華やかな雰囲気在校舎となりました。



4年生による英語劇

11月8日(火)、4年生による「桃太郎英語劇」の発表が行われました。新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度までの2年間はビデオ発表となりましたが、今年度は感染対策をとり、保護者の方に生で劇を見て頂くことができました。

練習当初はセリフを読むことすらままならなかった児童も、日々練習を重ね、一人一人が英語らしい発音やリズムでセリフを堂々とと言えるまで成長しました。また、セリフをどう表現すれば見ている人に気持ちが伝わるかを考え、声の出し方・大きさ・スピード・身振り手振りなどにも工夫を凝らす姿が見られました。

英語劇の活動を通じて、児童は英語で自分自身を表現する面白さ・できなかったことができるようになる喜び・みんなで協力し助け合いながら一つのものを作り上げる楽しさを味わうことができたように思います。この経験を生かして、今後も様々な英語表現活動に取り組んでいきます。





運動会 ～3年に1度の子どもオリンピック～

朝から雲一つないとても良い天気となりました。今年は、3年に1度の「子どもオリンピック」の年で、オリンピックの旗や聖火も登場しました。

曉幼稚園の運動会では、毎年、いろいろな係の仕事や開会式・閉会式でのあいさつ、表彰など、当日の運営がすべて年長組の子どもたちに任せられます。そのために、年長組の子どもたちは、自分たちで考えて動くことができるように、2学期の初めから何回も繰り返し練習していました。はじめは、なかなかうまくできなかった子どもたちも徐々にできるようになり、運動会当日は、全員が堂々とした姿で自信を持って取り組むことができました。とても立派でした。年中組や年少組の子どもたちも、お家の方々の応援を受けて最後まで頑張りました。運動会は、大成功!でした。また、来年の運動会も全員で力を合わせて頑張っていきたいと思います。



四日市北消防署へ

社会見学

年中組の子どもたちが、四日市北消防署へ社会見学に行ってきました。消防署では、煙体験や車両(消防車や救急車)見学をさせてもらったり、火事があった時にどのような行動をとればよいのかについて動画を見ながら教えてもらったりしました。煙体験では、火事は大きく燃え上がる炎も怖いけれどモクモクと立ち上る煙も怖いということを教えていただきました。その後、煙で充満した部屋の中を煙を吸わないように手で口を押さえ低い姿勢になって歩きました。車両見学では、大きな消防車を前に興味津々な様子で「これは何?」「あれはどうやって使うの?」といろいろな物を指さしながら次から次へと質問をしていました。最後に消防士の方から「大きくなるためには好き嫌いせず、ご飯をたくさん食べてね」というお話があり、その日から年中組では給食をたくさん食べる子が増えたそうです…



ハッピー ハロウィン

～お菓子くれなきゃ いたずらするぞ!～

10月終わりの3日間、それぞれの学年に分かれてハロウィンパーティを開催しました。子どもたちは、一人ひとり思い思いのお面を作り、首から光るジャックオーランタンのペンダントをさげて、薄暗い会場の中へ入っていきました。中は、とてもきれいに飾り付けがされていて大きな黄色のカボチャも置いてありました。チャド先生から、「cat(猫)」「witch(魔女)」「ghost(幽霊)」「skeleton(骸骨)」などの単語を教えもらい一緒に発音したり、英語の歌を歌ったり、ハロウィンバージョンのフルーツバスケットをしたりして楽しく過ごすことができました。最後に、年少組や年中組の子は「Happy Halloween!」、年長組の子は「Trick or Treat!」と言って、チャド先生からカボチャの入れ物の中に入っているお菓子を1つずついただき、どの子も笑顔で会場を後にしました。いたずらする子はいなかったようです・・・



クラブ活動報告

暁高等学校・暁中学校では、クラブ活動が盛んに行われ、どのクラブも様々な大会において健闘しています。

全ては掲載できませんが、本年度、特に優秀な実績を収めたクラブをご紹介します。

高等学校

【体操部男子】

- ◆全国高校選抜大会 男子あん馬3位(西村尚純)
- ◆東海高校総体 チーム選手権2位/個人選手権優勝(西村尚純)/あん馬優勝・ゆか2位・平行棒3位(西村尚純)/つり輪優勝(笹間優晴)/つり輪2位・跳馬3位(帰山凌太)
- ◆国民体育大会 決勝進出

【体操部女子】

- ◆全国高校選抜大会 女子ゆか5位・段違い平行棒6位(岡村 真)
- ◆東海高校総体 女子チーム選手権優勝/ゆか優勝・跳馬優勝(鈴木望未)/平均台優勝(岡田紗耶)/平均台3位・跳馬3位(岡田亜美)
- ◆全国高校総体 団体総合4位(星 有夏、岡村 真、鈴木望未、岡田紗耶)/個人総合3位・ゆか2位・段違い平行棒3位(岡村 真)/跳馬7位(鈴木望未)
- ◆国民体育大会 少年女子三重県チーム4位(星 有夏、岡村 真、鈴木望未)

【バドミントン部男子】

- ◆東海高校総体 団体ベスト8
- ◆全国高校総体 複ベスト32(西田裕翔、鈴木大哉)



【バドミントン部女子】

- ◆東海高校総体 団体ベスト8

【ハンドボール部女子】

- ◆東海高校総体 団体ベスト8



【ボクシング】

- ◆東海高校総体 ボクシング競技 フライ級3位(武島涼真)

【水泳部】

- ◆国民体育大会東海ブロック大会 水泳競技(水球) 三重県女子1位(岩本実姫)
- ◆東海高校総体 100mバタフライ出場(丹羽野々花)

【相撲】

- ◆三重県高等学校春期相撲選手権大会 個人の部重量級 準優勝(畑地怜郎) (東海大会出場)

【硬式テニス部】

- ◆三重県私立高校テニス大会 男子団体3位(東海私学大会出場)
- ◆三重県私立高校テニス大会 女子個人準優勝(日美姫乃)

【レスリング】

- ◆三重県高等学校レスリング競技新人大会フリースタイル60kg級優勝(金山弥礼)
- ◆三重県高等学校レスリング競技新人大会グレコローマン60kg級優勝(金山弥礼)
(東海大会出場)

【合唱部】

- ◆NHK全国学校音楽コンクール東海北陸ブロックコンクール高等学校の部 銅賞
- ◆全日本合唱コンクール中部支部大会 銀賞

【将棋部】

- ◆全国高等学校総合文化祭将棋部門 女子団体優勝/男子団体4位

【演劇部】

- ◆中部日本高等学校演劇大会 出場

【競技かるた部】

- ◆全国高等学校総合文化祭 出場(森 春香、植村涼寧、近藤真衣、伊藤凜佳)
- ◆奥の細道むすびの地全国競技かるた大垣大会 B級3位(植村涼寧)
- ◆全国競技かるた桑名大会 B1級4位(近藤真衣)
- ◆小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会 D10級3位(田中悠也)

【バトン部】

- ◆バトントワリング東海大会 銀賞



中学校

【硬式テニス部】

- ◆東海私立中学校テニス大会 女子団体3位/男子団体3位 (男女とも全国私学大会出場)
- ◆東海地区中学生テニス選手権大会 女子団体3位 (全国中学生テニス選手権大会 女子団体 出場)

【水泳部】

- ◆国民体育大会東海ブロック大会 水泳競技(水球) 三重県女子1位(岩本実姫)

【ESS部】

- ◆高円宮杯全日本中学校英語弁論大会三重大会 弁論の部最優秀賞(佐藤奏斗)

【競技かるた部】

- ◆湯島天満宮奉納全国中学生かるた大会 第4位(山田侑佳)

【合唱部】

- ◆中部合唱コンクール中学校部門 銅賞

入学試験

(詳細は各校HP等参照)

四日市大学(全学部共通)

一般A日程	出願期間:1/5(木)~1/31(火)	試験日:2/3(金)・2/4(土)
大学入学共通テスト利用I期	出願期間:1/5(木)~1/31(火)	個別試験なし
共通テストプラス	出願期間:1/5(木)~1/31(火)	試験日:2/3(金)・2/4(土)

※その他、一般B・C日程、大学入学共通テスト利用II・III・IV期、クラブ推薦C日程あり。

四日市看護医療大学

一般選抜前期日程	出願期間:1/4(水)~1/25(水)	試験日:2/1(水)・2/2(木)
一般選抜プラス共通テスト	出願期間:1/4(水)~1/25(水)	試験日:2/1(水)・2/2(木)
大学入学共通テスト利用選抜前期日程	出願期間:1/4(水)~1/27(金)	個別試験なし
育成会奨学生選抜後期日程(看護学科のみ)	出願期間:1/4(水)~1/25(水)	試験日:2/1(水)

※その他、一般選抜後期日程、大学入学共通テスト利用選抜後期日程あり。

暁高等学校(3年制)

出願期間:12/12(月)~1/10(火)
試験日:1/25(水)

暁中学校・高等学校(高校部)

出願期間:12/9(金)~1/9(月・祝)
試験日:1/27(金)

暁中学校

前期 出願期間:12/5(月)~12/23(金)、1/5(木)~1/6(金) 試験日:1/9(月・祝)
後期 出願期間:12/5(月)~12/23(金)、1/5(木)~1/12(木) 試験日:1/14(土)

